

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成29年2月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第55期第3四半期（自平成28年10月1日至平成28年12月31日） |
| 【会社名】 | ケル株式会社 |
| 【英訳名】 | KEL CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 土居 悦郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都多摩市永山6丁目17番地7 |
| 【電話番号】 | 042(374)5810（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 三國 武幸 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都多摩市永山6丁目17番地7 |
| 【電話番号】 | 042(374)5810（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 三國 武幸 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第54期 第3四半期 連結累計期間 | 第55期 第3四半期 連結累計期間 | 第54期 |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成27年4月1日 至平成27年12月31日 | 自平成28年4月1日 至平成28年12月31日 | 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 7,088,689 | 7,016,216 | 9,215,926 |
| 経常利益 (千円) | 656,257 | 611,735 | 841,368 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 421,957 | 424,972 | 528,857 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 378,771 | 440,441 | 338,526 |
| 純資産額 (千円) | 10,546,332 | 10,728,002 | 10,505,940 |
| 総資産額 (千円) | 13,549,189 | 13,810,310 | 13,596,868 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 58.05 | 58.48 | 72.76 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 77.8 | 77.7 | 77.3 |

| 回次 | 第54期 第3四半期 連結会計期間 | 第55期 第3四半期 連結会計期間 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自平成27年10月1日 至平成27年12月31日 | 自平成28年10月1日 至平成28年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 9.63 | 23.87 |

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 平成28年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び子会社2社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の回復が見られたものの、中国を始めとする新興国経済の鈍化、英国のEU離脱問題に加え、米国大統領選挙の影響等による金融為替市場の変動、政策内容の不確実性により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは注力市場の動向を見極めた受注活動を展開するとともに、生産性の向上によるコスト削減等に取り組み、企業基盤のさらなる強化に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は70億16百万円（前年同四半期比1.0%減）、利益面につきましては営業利益4億77百万円（同22.1%減）、経常利益6億11百万円（同6.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億24百万円（同0.7%増）となりました。

なお、当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック、ソケット等の製造・販売を行っているため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億9百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 30,000,000 |
| 計 | 30,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成28年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成29年2月13日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 7,743,000 | 7,743,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 7,743,000 | 7,743,000 | | |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (千株) | 発行済株式総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減額 (千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|---------------|--------------------|-------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成28年10月1日(注) | 7,743 | 7,743 | - | 1,617,000 | - | 1,440,058 |

(注)平成28年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で株式併合しました。これにより発行済株式総数は7,743,000株減少し、7,743,000株となっております。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成28年12月31日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | （自己保有株式） 普通株式 952,000 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式14,447,000 | 14,447 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 87,000 | - | 一単元（1,000株）未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 15,486,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 14,447 | - |

（注）1 「完全議決権株式（その他）」の「株式数」及び「議決権の数」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株、議決権の数が2個含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式350株が含まれております。

3 平成28年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で株式併合しました。これにより発行済株式総数は7,743,000株減少し、7,743,000株となっております。

4 平成28年6月29日開催の第54期定時株主総会において、定款一部変更に係る議案が可決されたため、平成28年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

【自己株式等】

平成28年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|--------------------|------------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| （自己保有株式） ケル株式会社 | 東京都多摩市永山 6 - 17 - 7 | 952,000 | - | 952,000 | 6.14 |
| 計 | - | 952,000 | - | 952,000 | 6.14 |

（注）平成28年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で株式併合しました。これにより当第3四半期会計期末の自己株式数は、476,200株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,175,423 | 2,744,407 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,305,531 | 2,263,332 |
| 電子記録債権 | 596,885 | 1,247,238 |
| 商品及び製品 | 520,195 | 575,183 |
| 仕掛品 | 41,994 | 46,328 |
| 原材料及び貯蔵品 | 484,673 | 584,606 |
| その他 | 411,745 | 368,940 |
| 貸倒引当金 | 2,890 | 3,348 |
| 流動資産合計 | 7,533,556 | 7,826,687 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,879,436 | 1,819,494 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,281,117 | 1,183,843 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 262,999 | 198,483 |
| 土地 | 1,171,754 | 1,171,754 |
| 有形固定資産合計 | 4,595,308 | 4,373,576 |
| 無形固定資産 | 94,155 | 95,926 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 562,425 | 657,753 |
| その他 | 811,422 | 856,366 |
| 投資その他の資産合計 | 1,373,848 | 1,514,119 |
| 固定資産合計 | 6,063,312 | 5,983,622 |
| 資産合計 | 13,596,868 | 13,810,310 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,181,531 | 1,332,671 |
| 短期借入金 | 150,000 | 150,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 40,000 | 40,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 328,000 | 262,000 |
| 未払法人税等 | 64,634 | 133,681 |
| 賞与引当金 | 175,123 | 178,494 |
| 役員賞与引当金 | 30,000 | 31,000 |
| その他 | 429,465 | 299,602 |
| 流動負債合計 | 2,398,754 | 2,427,450 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 210,000 | 190,000 |
| 長期借入金 | 60,000 | 15,000 |
| 退職給付に係る負債 | 415,767 | 438,763 |
| その他 | 6,406 | 11,092 |
| 固定負債合計 | 692,174 | 654,856 |
| 負債合計 | 3,090,928 | 3,082,307 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,617,000 | 1,617,000 |
| 資本剰余金 | 1,440,058 | 1,440,058 |
| 利益剰余金 | 7,603,344 | 7,810,305 |
| 自己株式 | 246,105 | 246,472 |
| 株主資本合計 | 10,414,297 | 10,620,891 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 115,063 | 187,701 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 982 |
| 為替換算調整勘定 | 32,326 | 28,661 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 55,747 | 50,946 |
| その他の包括利益累計額合計 | 91,642 | 107,111 |
| 純資産合計 | 10,505,940 | 10,728,002 |
| 負債純資産合計 | 13,596,868 | 13,810,310 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 7,088,689 | 7,016,216 |
| 売上原価 | 5,215,428 | 5,229,118 |
| 売上総利益 | 1,873,261 | 1,787,098 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,259,721 | 1,309,298 |
| 営業利益 | 613,539 | 477,799 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,343 | 1,174 |
| 受取配当金 | 17,692 | 19,206 |
| 為替差益 | 19,194 | 105,282 |
| その他 | 15,205 | 13,909 |
| 営業外収益合計 | 53,435 | 139,573 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,953 | 4,053 |
| その他 | 3,765 | 1,584 |
| 営業外費用合計 | 10,718 | 5,638 |
| 経常利益 | 656,257 | 611,735 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 314 | 788 |
| 特別損失合計 | 314 | 788 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 655,943 | 610,946 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 169,699 | 207,449 |
| 法人税等調整額 | 64,286 | 21,475 |
| 法人税等合計 | 233,985 | 185,973 |
| 四半期純利益 | 421,957 | 424,972 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 421,957 | 424,972 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 421,957 | 424,972 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 31,255 | 72,637 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 982 |
| 為替換算調整勘定 | 14,103 | 60,988 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,172 | 4,801 |
| その他の包括利益合計 | 43,186 | 15,468 |
| 四半期包括利益 | 378,771 | 440,441 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 378,771 | 440,441 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|--------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | - | 15,721千円 |
| 電子記録債権 | - | 209,583 |
| 支払手形 | - | 6,342 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 538,744千円 | 550,444千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成27年5月12日 取締役会 | 普通株式 | 188,998 | 13 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月8日 | 利益剰余金 |
| 平成27年11月9日 取締役会 | 普通株式 | 101,753 | 7 | 平成27年9月30日 | 平成27年12月7日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成28年5月11日 取締役会 | 普通株式 | 116,276 | 8 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月6日 | 利益剰余金 |
| 平成28年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 101,735 | 7 | 平成28年9月30日 | 平成28年12月6日 | 利益剰余金 |

(注) 1株当たり配当額は、基準日が平成28年9月30日であるため、平成28年10月1日付の株式併合前の金額を記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック、ソケット等の製造・販売を行っているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益 | 58円05銭 | 58円48銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 421,957 | 424,972 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円) | 421,957 | 424,972 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 7,268,336 | 7,266,893 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成28年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

中間配当による配当金の総額 101,735千円

1株当たりの金額 7円

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成28年12月6日

(注) 1. 平成28年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

2. 1株当たり配当額は、基準日が平成28年9月30日であるため、平成28年10月1日付の株式併合前の金額を記載しております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年2月10日

ケル株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 青柳 淳一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥津 佳樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているケル株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ケル株式会社及び連結子会社の平成28年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。